

第 14 回竹の台円卓会議議事録

- 1.日時 平成 25 年 1 月 14 日(月・祝) 10 時～11 時 00 分
(後半の部で 11 時 15 分～12 時 40 分の間に「新春の集い」を開催)
- 2.場所 竹の台地域福祉センター2F 集会室
- 3.出席者 筧委員長、森川西神中校長、西馬竹の台小校長ら竹の台地域委員会委員 32 人(後半の部で丸尾副児童館長が参加)

4.議事概要

昨年 12 月 1 日に実施した竹の台小学校区一斉清掃の反省及び道路等の点検結果の報告、神戸っ子応援団の準備状況、まちづくりワークショップ参加依頼、地域委員会の主要行事予定等の説明があった。後半は、新年を迎え出席メンバーで新年を寿ぐ「新春の集い」を催した。

5.議事内容

絹川広報部長の司会で始まり、冒頭に筧委員長が出席者に対し日頃の地域活動への謝辞とともに、神戸市西神中央出張所の業務内容に関し「最近、住民の方々から役所への手続きが西神中央出張所ではなく、玉津の区役所まで行かなければならず不便をきたしているとの声を多く聞くようになった。特に高齢者や子供関係の手続きの多くは区役所まで行かなければならず、バスを乗り継いだり、乳母車を押して交通量の多い道路を横断するなど実に不自由だ。西神ニュータウンだけでも三木市と同じ規模であり、西神中央出張所で全ての手続きができるよう行政に要望する必要がある。署名活動も考えたい」と行政サービスの向上について言及した。

続いて、あいさつした西馬竹の台小校長は、「竹の台小が文科省の公開授業推進モデル校の指定を受けた。3 月 7 日に全国の教師が集まり公開授業研究会を開催する。この研究会の主旨は、授業を通じて学びあう子供を育てること。竹の台小児童は、若干自己表現が苦手な子が多い。他人の話を聞き自分の考えをきちっと伝えられる子供を育てていきたい」。また、国際交流では「一昨年から継続した交流活動を行っているオーストラリアキングストン校長から手紙が来て、2013 年には子供達や保護者と一緒に竹の台を訪問したいとのこと。ふれあいまつりも是非参加したいとのことであった」と紹介。

森川西神中校長は、24 年に西神中にまつわる新聞記事のスクラップを紹介しながら「昨年は西神中でも様々な出来事があった。特に地域と中学校の協調には目を見張るものがある。ふれあいまつり、減災クロスロード、トライアルウィークなど地域の方々には本当にお世話になった。現在、西神中を中心に神戸っ子応援団の準備を進めているが、より一層学校と地域の連携を深めたい」とあいさつした。

(1)一斉清掃、道路等の点検結果のフォロー

司会の絹川広報部長が 12 月 1 日(土)の竹の台小学校区大で始めて実施した地域一

斉清掃の様様をパワーポイントで紹介。水野副委員長からは、23・24年度に神戸市に対して要望した道路補修、防犯灯照度アップ、伐採・捕植関係のフォローの状況が資料により報告された。

なお、補足とて、絹川広報部長より、「自治会長としての立場から言わせてもらうと、もう少し小学校区全体で取り組んでいるという雰囲気作りが必要かなと思う。一斉といっても、日を合わせただけでは盛り上がりには欠けるので、例えば一斉清掃に合わせ朝市を開催するとか、温かい飲み物を用意するとかの工夫も必要と思った」。

また、水野副委員長から「竹の台は、こうしてまとめて補修や改修が必要な箇所を神戸市西建設事務所に提出しているが、建設事務所からは『良くなればなるほど今度は逆にアラが目立ち、次の要請につながる』といった声も一部で出ている」との苦労話があった。

その後、出席者からは特段の発言はなく、話題提供して、森川西神中校長から資料にもとづき、神戸っ子応援団準備の進捗状況の説明があり、「25年3月発足に向けて地域の皆さんと会合を重ねている。応援団といっても何か目新しいことをするのではなく、今ある地域と学校の協力関係をより充実したものにしたい。協力をお願いする」との報告があり、絹川広報部長からは、「竹の台地域委員会の24年度の目玉事業である、竹の台まちづくりワークショップについて、過去5回にわたり地域課題毎に開催した。次回は1月27日(日)に予定しており、皆さんの参加もお願いしたい」と参加要請し、また、「25年度の地域委員会総会を4月28日(日)に開催したい。予定しておいて欲しい」との報告があった。

最後に、筧委員長から閉会の挨拶があり14回円卓会議を終了した。

6.新春の集い

一旦休憩後、11時15分から森川西神中校長、西馬竹の台小校長、丸尾副児童館長が参加のもと新年を寿ぐ「新春の集い」を開催した。

なお、次回の竹の台円卓会議日程は、別途連絡することとした。

以上